

兵庫県香港経済交流事務所 Hyogo Business & Tourism Centre (HK)

兵庫の魅力在香港へ、そしてアジアへ

1842年、アヘン戦争の結果、当時の清国から大英帝国に割譲されてから170年余りの間、香港は世界の交易と金融の要所として発展してきました。日本とシンガポールの間にある香港はアジアのハブ(中核)であり、1997年の中国返還後も一国二制度により自由に経済活動ができます。兵庫県香港経済交流事務所は、その香港を拠点に、香港から広くアジアを舞台に兵庫のプロモーションに取り組んでいます。ここではその一例についてご紹介します。

(1)兵庫の魅力PR、インバウンドの促進

2017年のアジアからの訪日客数は2,470万人を数え、全体の約86%を占めています。中でも香港からは約223万人と、人口比で約25%もの数字を記録しています。このような中、当事務所では次のような事業を実施・支援しています。

①広州Japan Fair(2018年6月)

日中友好平和条約締結40周年を記念して開催された地域PRイベントに当事務所が出展しました。



広州 Japan Fair 会場の様子

会場の正佳広場は広東省の省都広州市最大のショッピングセンターで、若者から家族連れまで多くの来場者でにぎわいました。

②香港Book Fair(2018年7月)

香港における最大の本の展示会「香港Book Fair」に本県が4年連続で出展しました。ここでは



香港 Book Fair の兵庫ブース

本県ゆかりの作家によるアニメ・漫画を紹介しながら、その故郷である兵庫の魅力に来場者に発信しました。

③台湾・香港からのメディア招へい(2018年9月)

訪日客の中心である、台湾・香港からのFIT(個人自由旅行)の拡大を目指し、これまで現地でも人気の雑誌2社の記者・カメラマンを招へいしてきましたが、今回は篠山を中心に取材してもらいました。

(2)兵庫の食・酒の販路拡大支援

日本の農林水産物・食品の輸出先第1位である香港は、日本食の激戦地でもあります。また、シンガポールをはじめとするASEAN地域も日本食の一層の拡大が期待されています。このような中、当事務所では、次のような取り組みを支援しています。

①シンガポールにおける輸出促進プロモーション(2018年7月)

一人当たりのGDPで日本や香港をも上回るシンガポールで、兵庫県では2016年度から現地企業と連携し、事業者向けの説明会からテスト販売等を通じた着実なプロモーションを実施しています。

②香港Food Expo(2018年8月)

アジア最大級の国際総合食品見本市「香港Food Expo」に、本県と県内事業者の皆様で構成



香港 Food Expo 会場の模様

する「ひょうごの美味し風土拡大協議会」がみなと銀行と連携し、県内企業等10社・団体と出展しました。

③次世代酒米プロジェクトによる香港での嗜好調査(2018年8月)

兵庫県が酒米の新品種「Hyogo Sake 85」を育成し、これを原料とした純米酒が製品化されました。この新製品の海外展開に向け、香港の情報発信拠点PMQにある「Sake Central」において嗜好調査が実施されました。

今後も当事務所では香港を拠点に、さまざまな機会を捉えて本県の魅力を発信するとともに、県内企業・団体の皆さまのアジアへの展開を支援して参ります。

兵庫県香港経済交流事務所 (Hyogo Business & Tourism Centre (HK))

Unit 506, 5/F, Tower 2, Lippo Centre, 89 Queensway, Admiralty, Hong Kong

TEL (+852) 2110 4570 FAX (+852) 2110 4571 URL <http://www.hyogobtc.com.hk>